

2月15日は「いちご煮の日」

今年も「いちご煮の日」がやってきました。

私は「いちご煮」が大好きです。小さい頃からずっと、ウニとアワビは私の好きなものベスト3に必ず入ります。その2つの食材が入っている「いちご煮」は、ドンピシャで大好物です。

八戸を離れて一人暮らしを始めた頃、親から送ってもらった「いちご煮缶詰」で炊き込みご飯を作り、青紫蘇を細く刻んでのせて食べていました。

昨年、みのもんたさんの「秘密のケンミンSHOW」や、円 広志さんの「よ〜いドン」(関西地区)で

ご紹介いただいて、私の大好きな「いちご煮」をたくさんの方々知ってもらうことができました。

「こんなに美味しいの食べたの初めて!」、
「磯の香りがとてもよかった。」などのお声をたくさんいただき、とても嬉しい気持ちでいっぱいになりました。

もっともっと大勢の方々に「いちご煮」を知ってもらいたい!

そしてもっともっと喜んでいただきたい!

これまで以上に一生懸命頑張りますので、

ご愛顧くださいますよう宜しくお願い申し上げます。(村木)



がくのち便り

第31号
平成22年2月

北のコナモン博覧会



粉を使って作るお料理やお菓子って、美味しいものがたくさんありますよね。ここ八戸にも、昔から伝わるせんべい汁や、ひつつみ(すいとん)・南部せんべい・よもぎ餅・豆しとぎ(大豆や米粉で作るお菓子)など粉を使った郷土料理や郷土菓子がたくさんあります。

農林水産省が平成19年度発表した郷土料理百選には、青森県から「せんべい汁」、岩手県からは「ひつつみ」等が選定されました。この粉食文化に着目し、地域独特の食文化を楽しく盛り上げ、地域内での交流、また圏域外からの誘客を図るため、八戸市と岩手県の久慈市・二戸市その周辺地域の粉もの料理を取り扱う飲食店・販売店等を巡るスタンプラリー「北のコナモン博覧会」を開催することになったそうです。北のコナモン博覧会ガイドブックには、観光情報をはじめ、昔から伝わる粉の料理やコナモン博覧会のために考案したオリジナルメニューなど、参加店舗158店の自慢の逸品が紹介されています。私は、そばの実入りワッフルなどのお菓子が気になっています・・・

3月22日まで開催中ですので、お近くにいらっしゃいましたら、是非ガイドブックを片手にいろいろ巡ってみてはいかがでしょうか。(橋本)

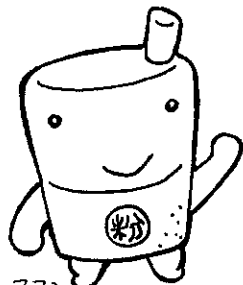


イラスト: 東

——《お客様のお声をお聞かせください》——

この紙面や八戸情報に対するお便りの他、「〇〇〇おいしかったよ。」「こんな食べ方が美味しい」といった商品に対するお便りなど、なんでも結構です。お寄せいただいたお客様の喜びの声、ご意見を元に、商品やサービスの向上に反映させていきたいと思っております。

※今後、味の加久の屋からの情報をご不要という方は、お手数でも、ダイレクトメールの封筒を、同封の返信用封筒にお入れになり、ご返送ください。

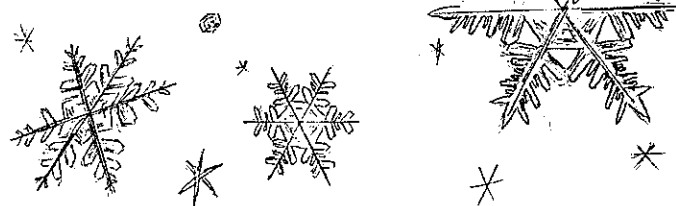
* 雪のおはなし *

暖冬予想だったはずなのに、この冬は各地で大雪となっています。鈍色の空から落ちてくる雪を見ているうちに、新沼 謙治さんの歌の一節が浮かんできました。

『降りつもる雪 雪 雪 また雪よ』
『津軽には七つの雪が降るとか・・・』

水蒸気が雲の中で氷の結晶となって降ってくるものが雪ですが、気温や水蒸気の量によっても形はいろいろ変わります。そんな雪に日本では素敵な名前がつけられています。

粉のようにさらさらとしたこな雪、綿をちぎったような大きな雪片のわた雪、こまかに降る細雪(ささめゆき)、牡丹の花びらのように大きなぼたん雪やざらめ雪など。また、春の雪には、うっすらと積もったやわらかで消えやすい淡雪(あわゆき)や はだれ雪などがあります。



雪かき作業に追われる毎日ですが、この雪はなんていう雪かな・・・?とちょっと視点を変えてみるのも、日々の生活を楽しむコツかもしれませんね。(利野)